

当日の流れ

13:30-13:40	開会あいさつ・趣旨説明
13:40-14:25	基調講演（中谷 真恵 氏）
14:25-15:15	第一部 クロストークセッション
15:15-15:25	休憩
15:25-15:35	第二部の進め方・各ブース紹介
15:35-16:20	第二部 マッチングセッション
16:20-16:30	クロージング

実施概要

日時	: 2026年11月30日(月) 13:30-16:30
会場	: 名城大学 社会連携ゾーン shake
アクセス	: JR 大曽根駅 徒歩8分
対象者	: 愛知県内の教育機関関係者／ 企業の経営者・人事など／自治体ほか
定員	: 100名（要申込・先着順）
参加費	: 無料
申込	: https://forms.gle/eGJM9azVwUWeWCyJ9

第一部 | クロストークセッション

関心のあるテーブルを1つお選びいただけます。各テーブル2つの事例をクロストーク形式で、実装のリアルを深掘りします。

A

高校探究・高大連携型PBL

探究を学校の外へ、実社会の学びにつなげる

高校生の探究を校内で終わらず、地域・企業・大学との協働や実践へどうつなげるか？学びを実社会へ広げるプログラム設計と外部連携の仕組みを考えます。

事例：愛知県立足助高等学校
愛知県立春日井泉高等学校

B

学内の多様な資源をどうつなぐ？

PBLを生み出す仕組みとコーディネート

学部・共通教育・ゼミ・課外活動など学内の多様な資源を、継続的なPBLや企業連携につなげるには？窓口機能、学内調整、コーディネート、運営体制、カリキュラムを考えます。

事例：名城大学 社会連携センターPLAT
金城学院大学 Kプロジェクト

C

企業を知り魅力を言葉にするPBL

取材を学びと企業価値につなげる

学生が企業を取材し、その価値を自らの言葉で表現するには？企業理解や言語化の学びにつなげ、企業にも新たな視点を返す、双方に価値あるやり方考えます。

事例：愛知淑徳大学 渡邊ゼミ「産学共創ブランディング」
新東通信「学生が選ぶ愛知の企業100選」

D

企業等の課題解決に取り組むPBL

実社会の課題を学びに変える

企業・地域のリアルな課題を題材に、学生が調査・分析・企画・実践などを通じて課題解決に取り組むには？実社会の課題と実践を主体的な学びにつなげるプログラム設計を考えます。

事例：愛知工業大学 つながるプロジェクト
ほか県内大学1校（調整中）

第二部 | マッチングセッション

これから取り組みたいPBLプログラムや科目・テーマを持ち寄り、大学・企業・自治体の垣根を越えて語り合う時間。「一緒にやってみたい」と思える相手と、その場で出会えます。具体像がまだ固まっていなくても大丈夫です。PBL推進アドバイザーが間に入り、当日の出会いを次の一歩（個別の相談・打ち合わせ）へとつなぎます。

